

KAGU TIMES

Cassinaからオブジェ Réaction Poétique

Jaime HayonがCassinaと新たなオブジェのコレクションを製作しました。ル・コレビュジエ建築の有機的形状とエスプリ・ヌーボーのアートワークにインスピライアされたデザインアイテムは、センター・ピース4種、2つのコーヒー豆の形状をしたトレイ1種、小さなローテーブル2種により構成。熟練の職人技が革新的な工業生産と結びつき伝統を受け継いでいます。



Réaction Poétique by Jaime Hayon

カンディハウス× 深澤直人「YUKAR」

YUKARはアイヌ語で「叙事詩」を意味します。北海道産ナラ材の魅力と質感を、深澤直人氏の第二弾として造形美により引き出したシリーズ。ソファーに加え、アームチェアとオットマン、木製の低い丸テーブルをラインアップ。サラッとした手触りの木部と、コンパクトなサイズ感ながらたっぷりとした座と背の豊かな座り心地を体験できます。



YUKAR by Naoto Fukasawa

日本フクラから倉本仁氏 デザインの椅子「MOST」

座る人を優しく包み込むようなおらかな表情を持つ椅子「MOST」。木工職人の丁寧な手仕事によって削り出された無垢材の笠置フレームは背中から肘掛け、そして座面までを緩やかにつなぎ合わせます。シートには独自の製造技術を活かした成形ウレタンフォームが採用されており、「最高」の名にふさしい上質な座り心地を実現しました。



MOST by Jin Kuramoto

四季のある島の 眠りの至宝。Cloudia

プレスエアーエクストラシルキーはフランスベッドと東洋紡のコラボレーションから生まれた、三次元スプリング構造体「プレスエアーエクストラシルキー」と、「高密度連続スプリング」との組み合わせにより、四季のある日本の気候風土に合った理想的な寝姿勢と、抜群の通気性を実現したマットレス。JR東日本が運行する「TRAIN SUITE 四季島」の全客室に採用されています。



Cloudia by France Bed

AD CORE DEVICEが 椅子・座卓の提案

AD CORE DEVICEの2018年モデルは、モダン・ヴィンテージスタイルの提案です。昨年発表した A-mode Heritage を、1970年代のファッショングの風を感じさせるように進化させたリビング、ダイニングシリーズを初めとして、AD CORE DEVICE 発の椅子・座卓の提案等、自由なインテリアスタイルに組み合わせる事のできるエクレクティックな新製品です。



A-mode Heritage by Noboru Seto

座るから乗るイスへ コクヨの新製品「ing」

体の微細な動きに合わせて360°自由に揺れる「グライディング・メカ」前傾や後傾、左右や斜めのひねりまで追随し、座面が自然にスイングします。座りながら運動できることで、心地よいリズムが生まれます。4時間のデスクワークで約1.5kmのウォーキングに相当する運動や創造的で有用なアイデアの発想数が13%アップするなど、体や脳に良い影響がある。



ing by KOKUYO FURNITURE

IDÉEの新しい試み POOLの取り組み

大量に生産される素材を無駄なく使い、ものづくりの過程で発生するハギレや端材、流通の過程で発生するキズなどで販売できなくなった商品をためておき、クリエーターとともに新たな価値のある商品に再生させる試みです。ラケットがミラーに、シルクハットが照明になったりとアップサイクルのプロジェクトも始動しています。



POOL by IDÉE

マルニと言えばクラシック atelier de la nature

atelierは1960年代から作り続けているマルニのクラシック家具をベースに、ヨーロッパの伝統的な装飾を生かしながら日本人らしく慎ましやかにリデザインされた家具シリーズ。木の表情を生かした仕上げを施し、アンティーク風にシャビー加工で仕上げたり、シートハイも高く、新たなファブリックもセレクトしました。



大阪展示のコーディネートは久保恵子さん